



国際ロータリー第2630地区 岐阜 Aグループ
岐阜中ロータリークラブ

Weekly Report

クラブスローガン

伝統的日本ロータリーの文化を尊重
しつつ、新たな試みを果敢に実行する

2020-21 RIテーマ
ロータリーは機会の扉を開く

令和3年3月2日(火)

第1374回例会 第1288号

会長 三宅裕樹
幹事 篠田たつ彥
発行 公共イメージ委員会
例会 火曜日 12時30分
会場 都ホテル 岐阜長良川
事務局 岐阜市神田町2-2
電話 058-264-9235

必達!! 第1例会出席率 100%

必達!! 年間例会出席率 90%

会長挨拶

会長 三宅裕樹



本日は、本来なら永瀬ガバナー補佐をお招きしての例会の予定でしたが、緊急事態宣言発令という状況を考慮し、ご訪問いただくのは次回5月へ繰り延べをさせていただきました。

さて、前回「金」についてお話をしましたが、今回から数回は「何故、株が高いのか?」というテーマでお話をさせていただきたいと思っております。正直、実体経済が悪いのに株価が高いという理由については諸説あります。そもそも、証券市場と実体経済は完全に乖離していると言い切る識者も少なくありません。

日銀をはじめ世界数多くの中央銀行が景気下支えを狙って、強い金融緩和を行っています。長期金利について

も1.5%程度ですので、本来ならば企業が融資を活用して設備投資等を行ってほしいのですが、残念ながら企業への融資額は増えておりません。

そもそも銀行は、融資の利息によって利益を得るシステムです。預金として預かった資金を金庫に積んでおいても1円の利益も出ません。以前は、日銀に預けることによって少しの利息を得ることも可能でしたが、マイナス金利政策によって日銀に預けることもできなくなりました。そうすると金融機関が利益を得るには以下の選択肢しかなくなります。

1. 融資先を探す (この時期に借りてくれるのは、外資系の機関投資家等)
2. 利息の高い債券などを購入し利益を得る (外資の発行するハイイールド(高利回り)債権)
3. 株などを購入し利益を得る
4. 手数料等を上げて利益を得る

以上のような理由から、金融機関の有する資金が株式市場等に過剰に流入していることが、株価高騰の数ある原因の1つとなっております。

友情と奉仕の灯を

スマイルボックス委員会

★誕生日おめでとうございます★

萩野昌和君

卓話

『新入会員卓話』

卓話者 吉田茂生会員

建部英春会員

※卓話はホームページへ掲載をしています。



前例会の記録

第1373回

2021年1月19日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] 我等の生業

[ゲスト]

[ビジター]

[出席] 会員総数30名(出席免除 5名)

本日出席19名 76.00%

[行事] 『新入会員卓話』

吉田茂生会員

建部英春会員

担当 会長

次回予定

第1375回

2021年3月26日(火)

[点鐘] 詳細調整中

[行事] 観桜例会

担当 親睦委員会